



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113
〒496-0036
代表TEL：（0567）26-3921
FAX：（0567）26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

十五夜お月さん／愛宕の家 <T・E>

皆様は十五夜お月さんを見られましたか？
私は、愛宕の家から入居者さん達と一緒にお月見をしました。
今年の十五夜は9月30日ということでしたが、台風17号接近の為、残念ながら見られませんでした。その代り翌日の10月1日は絶好のお月見日和。午後8時頃東の空にまん丸のお月様の姿あり『で～た、で～た、月があ～』や『う～さぎ、うさぎ、何見て跳ねるう～♪♪』加えて・・・『十五夜お月さん、こんばんはあ～、みんなの健康をお願いしますう～♪♪』と自作自演の歌まで飛び出して、とても幸せな気持ちになりました。
まん丸お月さんを見ているとそれだけでも幸せな気分になれるのですが、今年は入居者さん一緒に見られ、より一層幸せな気分でした。お月様ありがとう。

判断するための話題／ナイス・ケア<T・M>

最近、朝・夕はめっきり涼しくなり、お昼から暑くなる。体温・気温調節の難しい季節になりました。
一日をベッド上で過ごすことが多いHさん。先日、お昼から暑くなるだろうと思いエアコンを勧めたところ、「窓を開けるだけにして。」と希望されそのように対応。午後の訪問に何うと、じっとりと汗をかいていた事がありました。暑そうな様子を見てもっと良い声掛けはなかったかと・・・反省。
今は、「今日は、お昼から30℃になるらしいからエアコンを入れましょうか。」と言うと「お任せします。」と返事をされるようになりました。本人の希望を取り入れる事は大切ですが、その判断材料を提供することは私たちの責任でもありました。情報を具体的に伝え利用者さんと一緒に的確な判断をしたいと思っています。

10月の利用状況と行事予定／SOS・・・職員応募も大歓迎で～す！

☆ナイス・ケア(定員なし)・・・新規サービス大歓迎						
☆愛宕の家(定員17名)・・・入居者14名						
☆つしま紹介所・・・新規紹介者様大歓迎						
☆ナイス・ホーム(定員21名)・・・登録者15名						
☆ナイス・デイ(定員10名)						
日	月	火	水	木	金	土
4	6	7	4	6	7	4

べっこう飴／ナイス・キッズ <R・W>

9月27日、科学教室での溶ける実験。実験の結果、なんと！甘くて美味し～い“べっこう飴”が出来上がった！！
その後のある日、学校から帰ってくるなり『オレ、来月の誕生日に母ちゃんにアルコールランプ買ってもらう事にしたで、べっこう飴作って、てのひら(喫茶店)で売ろっか！？』と話しかけてきた。パッケージは【子供達が真心込めて作ったべっこう飴】だそうだ・・・。「この、子どもが作ったところが大事！大人は“あぁ～買ってあげよう”って思うんだよね」と、にんまり笑った奴がいる。売り上げたお金は好きなお菓子を買いまくるらしい。きっと、世の中は、べっこう飴のように甘くないと言うことを知るだろう(笑)



アンケート／SOS

毎年恒例の利用者アンケートを9月分請求書と一緒に同封しました。皆様の要望を直ぐに実現することは難しくても、意向を確認し今後役立てたいと考えています。お願い致します。
提出期日10月20日

ケアマネとして／ナイス・ホーム <A・M>

小規模多機能は1つの事業所の中で、訪問・通い・泊まりが利用でき、ケアマネも事業所に所属します。同じ業所内なので、私としては、日頃の様子をタイムリーに確認することが出来、サービス計画の変更や追加も臨機応変に行える利点があります。私は介護職として兼務し、利用者さんに関わることで実態に合わせて計画を見直す大切さを知りました。ナイス・ホームでは、“職員全員がケアマネのつもりで、サービス内容について考え、提案する”という意識を持つように働きかけられます。実際に「〇〇出来るようになったよ。次は△△を自分でやってもらってはどうか？」や「今の福祉用具は違う物へ見直した方が良いかも」等とアンテナを張り、必要に応じて計画や利用方法の見直しに参画します。ケアマネとしてはプレッシャーでもありましたよ。
私は、介護保険施行と同時にSOSで働いてきましたが、10月末で退職します。いつまでも、このままの考え方を貫き通す事業所であってほしいと思います。
利用者様、ご家族・関係者の皆様、共に働いてきた職員さん、長い間お世話になりました。幸せになりますね

地域交流の場所として／SOS <Y・I>

津島市の介護予防事業のひとつ、津島市老人クラブが主催する「ふれあい」サロンの場として、喫茶「てのひら」を開放することになりました。9月26日(水)に第1回目を開催。今後は、毎月最終水曜日の予定で手作業や合唱などを行う様です。(初回の写真がないので残念)9月の誕生日会には、JAあいち海部事業所のボランティアさんの慰問を受けました。この地域で、他のボランティアグループさん達からも定期的に慰問を受けることができており、とても嬉しい限りです。
SOSが愛宕町に根をおろしてから早11年。家政婦紹介・訪問介護・宅老所から始まり、今では建物も増え、各事業所規模は小さくても、その人にあった制度を提案し、より良いサービス提供ができるようにと努力してきました。今、多様な制度の事業展開が出来ています。これも地域の方々が受け入れて下さったおかげ。
これからも、地域交流の場や介護の拠点となれるよう頑張ります。

カンファレス／ナイス・デイ <M・O>

タクシーに乗ると感じの悪い運転手もいる。感じの良い運転手もいる。前者はお金の為に働いている人で後者は仕事にやりがいを見いだして働いている人だと私は思う。介護の仕事も同様で、むしろ“人間性を売る仕事”だと常々思っている。
現在、ナイス・デイでは9名のスタッフが関わっている。週に1回、1時間と限定し、カンファレンスを開催。
・自分達の仕事に対する姿勢はどうなのか？
・表情だとか自分が醸し出している雰囲気とか人に対して安心を生み出すことができているだろうか？
・統一した介護技術を行っているだろうか？等々
時代の流れが早いように、利用者さんの状況も、取巻く環境もどんどん変化していく。私たちは日々勉強し、カンファレンスで情報を共有しながら今後も利用者さんや世情に合わせた要望・要求に対応できるようにしていく場を目指します。

日々感じること／看護師コーナー <M・T>

在宅で起きたら困るのが床ずれ(褥瘡)。愛宕の家でも神経を使う。床ずれは悪化しやすく治りにくい。予防が大切。寝たきりであればあらかじめ予測が付きやすく、対処しやすい。しかし、自分で動ける人でも、入浴介助で発見されることがある。車椅子に座っていてあつという間に赤くなってしまうこともある。その場合は、エアマットや体圧分散クッションを使用する。床ずれの原因は「圧とずれ(摩擦)」。骨が出っ張っている部分、腰や踵、背骨に出来やすい。この部分の血液循環が悪くなり、皮膚や皮下組織、筋肉などが傷められて床ずれとなる。そこへ摩擦が加わると更に悪化する。
2歳の息子は寝相がひどく、6ヶ月の息子は寝返りが出来るのに動きが少ない。2人とも不快感があれば、その不快が無くなるまで訴える。しかし、床ずれが出来る人の多くは不快感を声に出さない。だからこそ、私たちが感じ取り、予防していくことが大切だと思う。



編集後記 <E・D>

以前、出掛けした際、友達がおじいさんから話し掛けられたことがある。友達は困った顔をしていた。聞くと、『何を言っているか分からない。』と言う。確かにバリバリの名古屋弁とおじいちゃん言葉(?)が混じっていた。聞き取りにくい言葉はあるけれど、私には大体分かる。これはやはり職業柄だな・・・と思った。なんか嬉しかった。でも、その後、友達に「しゃべり方が婆くさあ～い」とたまに言われる私、22歳。ちょっと気になるけど、『まあ、いっか！』と思うようにした(笑)